

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ】

《担当者名》 山田 律子 内ヶ島 伸也 船橋 久美子 鈴木 英樹(リハ)

【概要】

老年期を生きることの意味と価値について考えると共に、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴を踏まえた看護やエンドオブライフ・ケアについて理解を深め、高齢者と家族に対する看護活動に必要な知識とケアスキルを学ぶ。

【学習目標】

1. 老いの意味と価値を理解し、心身機能の加齢変化を踏まえた健康アセスメント、エンドオブライフ・ケアの視点を説明できる。
2. 高齢者の生活機能に関するアセスメントとケアの視点について説明できる。
3. 地域で暮らす高齢者と家族を支える保健医療福祉制度および多職種協働による地域包括ケアの重要性について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
	【課題レポート1】事前課題	別紙配付(郵送)の事前課題に基づき、認知症当事者の手記や視点で書かれた課題図書を選択して、課題レポート1を期限までにGoogle Formsで提出	山田
1	老いを生きるとは	・授業のオリエンテーションと課題について ・老いの意味と価値、加齢変化、老年看護学の原則・理論、高齢者を支える地域包括ケアと多職種協働	山田
2	【課題レポート2】 高齢者を取り巻く社会	「高齢者の統計学的輪郭と老年看護活動の方向性」に関するワークシート(Google Forms)を、教科書「国民衛生の動向」を用いて学修し、課題レポート2として期限までに提出	山田
3	高齢者の健康アセスメント	・課題レポート2「高齢者の統計学的輪郭と老年看護活動」の解説 ・老年看護過程、高齢者の認知機能のアセスメント	山田
4	高齢者の健康アセスメント	高齢者の運動機能のアセスメント	鈴木
5	高齢者の健康アセスメント	高齢者の循環・呼吸・消化・泌尿器のアセスメント	内ヶ島
6	高齢者の健康アセスメント	高齢者の外皮・感覚、内分泌のアセスメント	内ヶ島
7	老年看護の展開	高齢者の日常生活動作、身じたく・清潔のアセスメントとケア	内ヶ島
8	【課題レポート3】 老年看護の展開	「高齢者の睡眠・覚醒、活動のアセスメントとケア」に関する別紙課題(郵送)に従って課題レポート3を作成し、期限までにGoogle Formsで提出	山田
9	老年看護の展開	・課題レポート3「高齢者の睡眠・覚醒、活動のアセスメントとケア」の解説 ・高齢者の食事のアセスメントとケア	山田
10	老年看護の展開	高齢者の排泄のアセスメントとケア	内ヶ島
11	エンドオブライフ・ケア	その人らしく最期まで生きることを支えるケア、認知症高齢者への地域包括ケアの実際	武田純子(特別講師)、 山田
12	【課題レポート4】 高齢者保健医療福祉制度	「高齢者保健医療福祉制度、多職種との連携」に関する別紙課題(郵送)に従って課題レポート4を作成し、期限までにGoogle Formsで提出	山田
13	高齢者への地域包括ケア	・課題レポート4「高齢者保健医療福祉制度、多職種との連携」の解説 ・高齢者の権利擁護と地域づくり	山田
14	高齢者への地域包括ケア	・高齢者に対する災害看護と地域づくり	船橋
15	介護家族と支援体制	介護家族の生活と健康、介護状況、地域支援体制	内ヶ島

**【評価方法】**

課題レポート50%と最終確認テスト50%

**【備考】**

- 教科書：1)北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院,2018.  
2)山田律子・萩野悦子・内ヶ島伸也・井出訓(編)「生活機能からみた老年看護過程」第3版 医学書院,2016.  
3)厚生統計協会(編)「国民衛生の動向・厚生指標2019/2020」厚生労働統計協会,2019.

**【学習の準備】**

- 1)予習は、教科書の授業テーマに関する部分をあらかじめ読んでおくこと(60分)。
- 2)配付資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように授業に携帯すること。
- 3)復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること(60分)。
- 4)課題レポート(事前課題の[推薦図書]と2・8・12回目の課題)は、期限までに必ず提出すること。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2、1、4

**【実務経験】**

山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション認定士)、内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、鈴木英樹(理学療法士)、武田純子(看護師、介護支援専門員、北海道グループホーム協会顧問)

**【実務経験を活かした教育内容】**

老年看護の実務経験に基づき、老いの意味と価値、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を踏まえた生活機能のアセスメントとケアの視点を教育する。特に高齢者の運動機能のアセスメントでは理学療法士、地域包括ケアとエンドオブライフ・ケアでは全国区で活躍する実践家が質の高いケアについて写真や映像も交えながら、実践的教育を行う。